

平成 29 年度 第 2 回香南市産業振興計画推進分野別部会 報告

- 1 農業部会 1 ページ
- 2 林業部会 2 ページ
- 3 水産業部会 3 ページ
- 4 商業部会 4 ページ
- 5 工業部会 5 ページ
- 6 観光部会 6 ページ

・平成 29 年度 第 2 回香南市産業振興計画推進農業部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	氏名	所属
1	◎竹内 淳	J A土佐香美園芸部
2	○長崎 篤史	香南市認定農業者連絡協議会
3	石丸 典男	J A土佐香美果樹部
4	百田 彰和	香南市有害鳥獣被害対策協議会
5	近藤 亨	J A土佐香美営農経営指導課
6	吉本 良太	高知県中央東農業振興センター 農業改良普及課
7	山本 茂夫	香南市農業公社

2. 事務局

	氏名	所属
1	村山 敦	農林課
2	中屋 幸夫	農林課
3	小松 大洋	農林課
4	伊野 広高	農林課

3. 部会実施結果

回数	主要課題	取組状況及び課題と今後の対応
第 2 回 (10/2)	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回策定委員会および分野別部会合同会議について ・平成 29 年度農業分野の上半期進捗状況について ・平成 30 年度農業分野の新たな取り組みの検討について 	別紙当日配布資料参照
委員意見(抜粋)		
<p>① 第 1 回策定委員会および分野別部会合同会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分野別部会合同会議で、数班に別れて意見交換する際、席同士が近く同じ班の意見が聞き取りにくかった。次回は分科会方式で各班に部屋を用意してもらいたい。 <p>② 平成 29 年度農業分野の上半期進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農山漁村交付金事業で作成しているみかんバスターが非常に好評。他の農作物についても様々な可能性があると思う。引き続き研究をお願いしたい。 <p>③ 平成 30 年度農業分野の新たな取り組みの検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の負担を軽くしてほしい。例えば園芸用ハウス整備事業の新規就農者区分で知事特認を外す等。 		

・平成 29 年度 第 2 回香南市産業振興計画推進林業部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

2. 事務局

氏名		所属	氏名		所属
1	○白石 祐治	中央東林業事務所 振興課	1	村山 敦	農林課
2	◎野島 常稔	香美森林組合	2	中屋 幸夫	農林課
3	清藤 好弘	香美森林組合 (旧夜須町)	3	平井 彰洋	農林課
4	別役 瑞久	香美森林組合 (旧香我美町)	4	篠田 圭佑	農林課
5	恒石 健一	林道愛護員 (旧夜須町)			
6	小松 光廣	林道愛護員 (旧香我美町)			
7	久保 肇	林業者			
8	東谷 興正	高知県計画推進課 地域支援企画員			

3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第2回 (10/6)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回策定委員会及び分野合同会議について ・平成29年度林業分野の上半期取組実績について ・平成30年度林業分野の取組等について 	<ul style="list-style-type: none"> ① 境界明確化事業について ② 森林環境税について ③ IOT 導入 ④ 有害鳥獣について ⑤ 林道・作業道予算について ⑥ 新庁舎建設について
委員意見 (抜粋)		
<p>① 境界明確化事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過疎化、高齢化により県外に出られる方が増え、山をどうしたらよいかという相談が増えている。あちこちで土地を持つてどこまでが自分の土地なのか分からないというような事例も出てきている。 ・後継者問題や所有者等複雑にからみあっており、また個人の財産にも関わってくるため今後の林業行政の大きな課題となってくる。 <p>② 森林環境税について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業予算が厳しい中で新しく環境税をあつめて市町村に回す。森林関係の課題の財源として国が集め、市町村に配分するというような流れが来年度以降にできていければ。 ・市町村の森林面積に応じて配分。 <p>③ IOT 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の取組として IOT の導入をしていく。山林では事故が多いため、常に携帯をもって緊急の時にすぐに知らせるようにする。 ・生産管理や労働管理につなげる。産業振興の延長。 <p>④ 有害鳥獣について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過疎化、高齢化がシカやイノシシなどの有害鳥獣の増加につながってくる。 ・木炭等の燃料が安くなっているため中山間の過疎化が進み、有害鳥獣が増えてしまう。 <p>⑤ 林道・作業道予算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道・作業道の予算を多くしてほしい。木が倒れた時の危険性。 ・作業道と林道の違いが分かりにくい。作業道は予算が出ないため補助の対象にしていかないといけない。 <p>⑥ 新庁舎建設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎自体は鉄骨だが、その中で県も推進している木質化をお客様の見える位置に使っていく。一部 CLT を利用する。夜須の国光にある市所有の財産林がおよそ 200 m² 使えそうとのこと。 		

・平成 29 年度 第 2 回香南市産業振興計画推進水産業部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	氏名	所属
1	◎山下 太造	高知県漁協 赤岡支所長
2	○仙頭 美香	高知県漁協 手結支所長
3	本田 和仁	赤岡バッチ船主会会長
4	北村 政志	吉川バッチ船主会代表者
5	浜口 信義	手結地区漁業者
6	中山 勝道	住吉地区漁業者
7	野村 操	ジャコ加工業者
8	池 卓也	中央漁業指導所
9	齋藤 弓子	高知県計画推進課

2. 事務局

	氏名	所属
1	尾崎 新一	商工水産課
2	澤田 卓	商工水産課

3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第2回 (10/2)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回策定委員会及び分野別合同会議報告について ・平成29年度上半期水産業分野の進捗状況について ・平成30年度の新たな取組について 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸漁業総生産量について ・水産機能施設及び漁港施設の整備について ・漁業者の所得向上について ・新たな取組の検討について
委員意見(抜粋)		
<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸漁業総生産量1,200tは手結支所のみか。3支所の合計目標(シイラ、イワシシラス)が1,200tである。 ・水産機能施設や漁港整備の改修整備は振興計画というより、維持管理ではないか。新たに出されるのが振興策ではないか。 ・学校給食に地元産のシラスが使用されない原因に、異物除去ができていないことの条件説明がない。加工業者等に、学校給食納入に向け説明会の開催。 ・所得向上につながる漁業がしたい。 ・5年後、10年後の漁業者の状態を見極める必要がある。 		

・平成29年度 第2回香南市産業振興計画推進商業部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	氏名	所属
1	◎福井 律	お菓子と雑貨おひさん
2	○西村 幸祐	香南市商工会
3	橋本 香織	香南市観光協会
4	田中 たい子	スタジオハンズ・たいびんび
5	安藤 潮	高知県計画推進課（地域支援企画員）

2. 事務局

	氏名	所属
1	西岡 亜希子	商工水産課
2	猪原 加江	商工水産課

3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第2回 (10/3)	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度上半期の進捗状況について 平成30年度に向けた新たな取組について 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドブックは、データと紙ベース両方を作成する方向で取り組む 香南バル等、「町へ繰り出すきっかけづくり」のイベントを実施 空き店舗の調査方法について検討 新規創業希望者への窓口の連携

委員意見（抜粋）

- ・ガイドブックは、ウェブサイトで作るのも一つの手だという意見が商工会商業部会でも出た。お金を使うなら今後につながるようにしたい。
- ・ガイドブックは、ホームページも必要だが、それにつながるような形で、薄くても紙ベースもあった方が良い。何を売っているのか一目でわかるものがあれば、店にも入りやすくなる。
- ・バルは、香美・南国と同じ形になると思うが、まだまとまってない。来春を目処に開催できるように委員会で検討を進める。バルを開催する目的は、町に繰り出すきっかけを作ること。新しい団地ができて、人口は増えているかもしれないが、町に人がいない。
- ・バルを開催するなら三宝山も会場にすれば、他と差別化できる目玉になるのではないかな。
- ・三宝山の利用については、ロケーションや立地は理想的だと思うが、今回は、「お店に呼ぶ」ことを目的としているので、検討していない。
- ・野市町時代のちんどん全国大会のように、商店街を歩行者天国にするとか。若者世代が興味あるようなイベント、例えばコスプレ全国大会とかを開催するのもいいかもしれない。
- ・イベントは地域の人の思いがないと続かない。キーパーソンが必要。
- ・空き店舗の調査については、地道にマップを埋めていくしかない。他市町村では空き店舗調査に地域おこし協力隊を活用しているという話も聞いたので、香南市でも検討してもらいたい。
- ・新規創業希望者の窓口は、銀行・行政・商工会・不動産屋等、いくつもあるので、連携して対応していく。
- ・創業希望者が必要としている情報をいかに提供していかけるかを考えていかないといけない。

・平成 29 年度 第 2 回香南市産業振興計推進工業部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	氏名	所属
1	◎黒原 正仁	YAMAKIN (株)
2	川久保 武志 (欠)	カワクボFACTORY (株)
3	野島 和男 (欠)	(株) 暁産業
4	金城 圭一	高知職業能力開発短期大学校
5	小松 裕明	高知県産業振興センター
6	○澤田 保男	香南市商工会
7	石丸 法正	香南市商工会
8	安藤 潮	高知県計画推進課

2. 事務局

	氏名	所属
1	萩野 大輔	商工水産課
2	猪原 加江	商工水産課

3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第2回 (10/4)	<ul style="list-style-type: none"> ・分野別部会合同会議について ・平成 29 年度上半期の進捗状況について ・平成 30 年度に向けた新たな取組について 	<ul style="list-style-type: none"> ・合同会議はテーマを絞って継続した開催を。 ・ルネサス工場、川谷刈谷第二工業団地、香南工業団地の残り 1 区画 (A 区画) は今後も引き続き企業誘致に努める。 ・補助事業関係については、利用増加に繋がるよう事業内容や補助対象経費の見直しを行う。 ・工業部会による会社訪問は今後も継続し、訪問先のニーズを聞くことで事業への反映を図る。
委員意見 (抜粋)		
<ul style="list-style-type: none"> ・合同会議は今回初めての取組。今後も回数を重ねていかないとなかなか意見も出ないように思う。もう少しテーマを絞ったら整理しやすかったように感じた。各分野の委員がテーブルに集まって行う会議方法が解っていれば事前に意見も準備が出来ていたかもしれない。 ・各支援事業については問い合わせのみで利用がない。もう少し違った意味での補助金の使い方を検討し、もっと有効活用できるような制度を見直ししてはどうか。 ・事業用空き地は商工会の方にも金融機関等を介して土地の照会はいくつかあるが、隣地に住宅があったり騒音の問題等でマッチングが難しい。市でとりまとめてやれば紹介もしやすい。 ・本で行われた会社訪問については非常に参考となった。次回以降も継続するのであれば支援事業を組み立てるうえで事業に反映できる情報収集を行うべき。 		

・平成29年度 第2回香南市産業振興計画推進観光部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	氏名	所属
1	◎岡林 順子	創造広場アクトランド
2	○森尾 美紀	香南市観光協会
3	吉村 和久	高知県立のいち動物公園
4	長山 哲雄	高知工科大学
5	池上 加奈	香南市商工会
6	塩井 政利	香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会
7	齋藤 弓子	高知県計画推進課
8	近藤 誠	香南市地域支援課

2. 事務局

	氏名	所属
1	谷口 奈菜子	商工水産課
2	猪原 加江	商工水産課

3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第2回 (9/26)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回策定委員会及び分野別部会合同会議について ・平成29年度上半期の観光分野の進捗状況について ・平成30年度の新たな取組の検討について (意見交換) 	<ul style="list-style-type: none"> ・PR動画の作成について ・旅行エージェント向け観光ストーリー企画作成について ・観光部会へのアドバイザー招致について ・志国高知幕末維新博 第2幕「明治維新150年」の開幕について
委員意見(抜粋)		
<ul style="list-style-type: none"> ・物部川DMO協議会の取組に関して、周辺施設との連携も必要になると思うが、地域への情報提供がないので、協力したくてもできない状況。イベント準備や広報などの問題もあるので、早く情報がほしい。 ・ニラや魚など、もっと地元の食材が食べられるようにして、集客しないとつまらない。今人気のインスタ映えるスペースをつくるなどし、わざわざヤ・シィに寄りたくなるような工夫が必要ではないか。 ・ヤ・シィに空き店舗があるということは、観光客の減少や、ヤ・シィに出店したいと思っている事業者を思い留まらせる要因にもなると思う。対応をお願いしたい。 ・いろいろやりたいことを持っている人や、アイデアがある人はいる。観光部会はそういう人の意見を聞ける場になりたい。 ・PV作成には行政だけだと無難なものに落ち着く、観光協会や地域おこし協力隊など民間の力を借りて、長いスパンで作れればいいものができると思う。 ・ひとつの観光振興の切り口に東京オリンピックがある。オリンピック後の視点を見据えた活動はもちろんだが、香南市民の協力を得る取り組みが必要 ・外部の人の意見を取り入れる意味でも、一度観光部会に外国人や移住者を招致するのもありだと思う。 ・駅やトイレに外国人観光客向けの説明板を取り付けることも、今後の対応として考えられる。 ・サイクリング周遊マップで周遊促進のため、クーポンや食の情報の増幅なども検討したい。 		